

民報 ゆうばり

危険な安倍9条改憲発議を止めよう！ 「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」に協力を！

「9条に自衛隊明記」 半数以上が反対

先月の衆議院選挙で、市民と野党の共闘はさらに前進しましたが、改憲派勢力は国会の8割を占める結果となりました。

しかし、これは民意を反映しない選挙制度「小選挙区制」などの影響も大きく、選挙後の世論調査でも、「9条に自衛隊明記」に反対する人は半数以上上っています。

安倍改憲NO！全国市民アクション

9月8日、瀬戸内寂聴・なかにし礼・森村誠一さんら19名の呼びかけ人による、「安倍改憲NO！全国市民アクション」のキックオフ（発足）集会が開催されました。

実行委員会には、

「総がかり行動実行委員会」に参加する団体に加えて、「安全保障関連法に反対する学者の会」「安保関連法に反対するママの会」の有志なども参加。

「九条の会」も「戦後日本と憲法の最も大

「自衛隊明記」は9条を変質させる あなたも「全国統一署名」に協力を

きな岐路」だとして参加、「戦争をさせない1000人委員会」、「憲法9条壊すな！実行委員会」、

「憲法を生かす共同センター」が一緒になつて、「3000万人署名」を呼び

かけています。

「戦争する国」に転換しようというねらいをもっています。」と述べ、

「明日の平和をつくりだす夕張の会」事務局の熊谷泰昌さんは「1年前の、戦争法反対の署名は1868

九条の会 初の他団体との共同

「九条の会」が他団体と共同するのは初めてです。九条の会は、その声明の中で、「安倍政権は、9条1項、

10月14日の岩見沢講演で「もし9条に自衛隊が明記されれば9

11月15日、党夕張総合後援会では、「3000万人署名」に取り組み、くまがい桂子

筆を集め、国会へ届けました。11月24日、15時からJR南清水沢駅周辺で、3000万人署名に取り組みます。9条改憲を発議させない、圧倒的多数の国民世論を示す署名に、是非、協力を」と呼びかけていました。

安倍9条改憲は戦争への道



危険な安倍9条改憲案を止める、大きな世論のうねりを (抜粋)

安倍首相はすでに、自民党の憲法改正推進本部の人事を組み替えて自分の言うことをきく体制にしており、自民党改憲案は、5月3日に安倍首相が打ち出した「安倍9条改憲」案に沿ったものになるでしょう。自衛隊が「9条の2」などとして憲法に定められたら、集団的自衛権の行使や国際紛争への武力介入など、自衛隊が海外で戦争し、殺し殺されることが憲法で認められることとなります。9条は、1項も2項も効力を失い、日本は「いつでも戦争する国」になってしまいます。

これに対し私たちは、特に若い世代や女性などに「安倍9条改憲」の危険性を分かりやすく丁寧に訴え、これに反対する意思を持つこと、できるならその意思をさまざまな形で表わすことを呼びかけていきましょう。

「安倍9条改憲 NO！憲法を生かす全国統一署名」（3000万人署名）は、そのための意思表示の方法であり、対話の機会をつくりだすためのものです。この署名のうねりが全国に広がっていけば、改憲勢力はその勢いと意欲を失うことになるでしょう。

正念場はこれからです。あらゆる地域で、分野で、街頭でも駅頭でも、商店街や路地裏でも、戸別にでも、1人ひとりに語りかけ、対話の輪を広げていきましょう。分かりやすいチラシやリーフ、SNSでの発信や対話、音楽や絵画、パフォーマンスなど、創意工夫をこらし、「戦争する国、反対」、「自衛隊は殺すな、殺されるな」、「安倍9条改憲を止めよう」と訴えていきましょう。

2017年11月16日

安倍9条改憲 NO！全国市民アクション実行委員



建設交運一般労組 夕張支部大会開催

11月9日、建交労務所において、第74回支部大会が開催されました。

来賓として出席したくまがい桂子市議は挨拶の中で、10月の衆議院選挙の結果にふれ、「解散の理由は、「安倍首相の加計・森友疑惑隠し」とテレビや新聞などでも報道された。市民と野党の共同が進む中で、民進党から希望の党への分断もあったが、その中でも共産党は市民の皆さんとともに、「野党共闘」を進める大きな推進力を発揮し、北海道では12の選挙区すべてで野党共闘が実現。今回、私たちは市民と野党の共闘を成功させることを大方針に、日本共産党・立憲民主党・社民党の3野党が市民連合と7項目の政策合意を結び、協力・連携して選挙を戦った結果、立憲民主党が躍進。党の議



席は減らしたたが、市民と野党の共闘が『改憲阻止勢力』（日本会議所属の国会議員を含まない立民・共産・社民）となつて、改憲阻止の議席を38から69議席へと大きく増やした。自民党が得た比例票は33%（有権者比17%）なのに、61%の議席を得たのは、大政党に有利な民意をゆがめる小選挙区制度のため。議席と同じ『6割の支持』を得た訳ではない。選挙後の世論調査でも、改憲に反対は過半数。平和憲法を守る『3000万署名』などで草の根からの活動を強めましょう。」と話しました。

議案討議の後、役員全員の再任を決め、閉会しました。

第28回市民音楽の夕べ開催

11月11日ホテルシニエパロ嶺水の間を会場に、第8回市民音楽の夕べが開催されました。主催は夕張音楽協会（5団体加盟）で、各単位の活動発表の場として、音楽ビデオ鑑賞・吹奏楽・合唱の3部門のプログラムが披露されました。この日悪天候にも関わらず、用意された200席が参加者でほぼ埋め尽くされ盛況でした。

最初に、音楽協会長の挨拶後、レコード愛好会による音楽映像 ヨハン・シュトラウス2世作曲 ワルツ「美しく青きドナウ作品314」と同じく1世作曲「ラデツキー行進曲作品228」指揮：グスターボ・ドウダメル 演奏：ウイーン・フィルハーモニー管弦楽団 解説：浦崎勝子で始まりました。

2番目はコール・ポピーによる女声合唱が指揮：滝口洋子 伴奏：鈴木ゆずりで「クスノキ」「少年時代」「花の首飾り」の3曲でした。

3番目はコール・リラによる女声合唱が指揮：安藤政子 伴奏：大館円で「私を泣かせてください」「ハナミズキ」「たしかなこと」の3曲を聴きました。（ここまで第1部休憩に入る）

第2部は市民吹奏楽団の演奏は指揮：岡部一昭で、「スウイング・スウイング・メドレー」「美女と野獣より『メインテーマ』」「演歌メドレー VOL.3」の3曲を鑑賞しました。

最後のステージはリンデンコールの発表ですが、仲間であるテノール歌手 手平田隆男さんの独唱で、「鱒」「里の秋」「落葉松」を聴きました。

その後指揮：安藤政子 伴奏：大館円で「花」「荒城の月」「浜辺の歌」の3曲が披露され終幕を迎えました。

舞台上のリンデンコールと会場の全参加者で「もみじ」を歌い、夕べは成功裏に、締めくくられました。



全体合唱「もみじ」を歌うリンデンコール



岩渕 友「国会かけある記」
参議院議員

岩渕 友

話し合いで解決するのが「かっこいい」

いよいよ本格的な冬がやってきました。寒い中でも、安倍政権の暴走を許さない運動は熱い。

憲法九条改憲阻止の三千万人署名。東京では毎週木曜日に日本共産党が街頭宣伝をスタートさせ、国会議員団も参加しています。私も訴えました。驚いたのは反応のよさです。署名板を持った途端、「署名します」と声をかけてくれたのは大学生でした。「戦争になったら真っ先に行くことになるのは僕たちです。戦争するんじゃないやなくて、話し合いで解決するのがかっこいいと思います」と話してくれました。その後も次々署名をする方が。

毎日新聞の世論調査では、改憲案の発議を「急ぐ必要はない」という回答が六六%に上っています。改憲勢力が三分の二の議席を持つなかで、九条を守りたいという思いが広がっていることを感じます。

寄せられる声はそれだけではありません。「安倍首相って何でも強引に進めようとしてこわいよね」「共産党に頑張ってもらわなくちゃ」など、安倍政権への怒りや不安と同時に、日本共産党への期待も大きい。特別国会ではようやく行われた所信表明はあつと

いう間に終わりました。「丁寧」な説明とはほど遠く、多くの新聞も「物足りない」と報道しています。与党が野党の質問時間を削ろうとしていることを許すわけにはいきません。一つ一つがたたかいです。

徹底的な議論で国政の問題を質す、安倍暴走政治を許さないたたかいを国会内外で広げるために力を尽くしたいと思えます。